

1学期をふりかえって ～学習参観日の校長あいさつから～

校長 横江 信一

7月7日の学習参観日には、ご多用のところお越しいただき、ありがとうございました。学習参観日の学級懇談前に保護者の皆様にお話した内容をまとめましたのでご確認いただければ幸いです。

1点目は、あいさつです。

私は、“あいさつ日本一をめざそう”と子どもたちに話しておりますが、子どもたちは 明るく、元気に、まず自分からあいさつをする子が多くなりました。私は、校門前の信号を渡る子どもたちや体育館駐車場でスクールバスから降りる子どもたちを迎えますが、元気にあいさつをされると本当に気持ちがいいものです。最近、校門前を通る中学生や高校生、保護者、出勤する地域の方々からたくさんあいさつをいただき、私も進んであいさつをしています。子どもたちには、お客様や地域の方々にも、今まで以上に進んであいさつをしてほしいと願っております。

2点目には、命の尊さについてです。

現在、学区内では道路事情に不慣れな車も通行しているので、特に自転車乗りが心配です。

本校は自転車通学ではありませんが、4月に自転車を持っている児童のヘルメット所持の様子を調べてみたところ、自転車を持っている児童のうち、ヘルメットを持っているのは59%でした。7月の調査では、65%まで向上していますが、少ないのが実情です。ヘルメットは、間違いなく命を救います。必ずヘルメットをかぶるようご家庭でも声掛けをお願いいたします。特に、夏休みに入り、町スイミングセンターに自転車でも来てもよいことになっている南郷地区の児童は、必ずヘルメットをかぶることにしていますので、よろしく願いいたします。

3点目になります、通信票についてです。

今年度から新学習指導要領が全面実施となり、基礎的な知識・技能を確実に習得することと、自ら考え、判断してよりよく解決する力が今まで以上に求められております。そこで、今回終業式にお渡しする通信票『学校と家庭のれんらく』を大きく様変わりさせることにいたしました。

変更点の一つ目として、学習の様子や生活の様子を各学期ごとにし、透明ファイルにとじ込んで配布させていただきます。変更点の二つ目としては、学習の評価についてです。例えば、2年生の算数では、“簡単な事柄を表やグラフに表すことができる。”“2位数のたし算の筆算ができる。”といったように、学習内容が到達できたのかどうかをはっきりさせ、“基礎・基本の確実な理解”を図ることを大事にいたしました。十分達成しなかった項目は、お子さんと話し合い、家庭学習で補ってほしいと思います。詳しくは、お手元の通信票の見方をご覧ください。

最後に、夏休みの期間を2日間早め、**2学期の始業式を8月24日(水)に変更しました。**1学期始業式が遅れて開始されたことありますが、2学期以降、台風やインフルエンザ等による授業の変更も予想されることから、今後の授業時間の不足を補うことを踏まえ実施しますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

響かせよう！あいさつの輪

『**あかるい声で**
のつでも
ききに
のたわるように』

明るく元気な子供たちのあいさつの輪が、地域・家庭に広がっています。子供たちの取り組みに対し、地域の皆様のお励ましをお願いいたします。



平成23年度 通信票『学校と家庭のれんらく』の見方について ～「学習の様子」から～

今年度から学習指導要領が全面改訂され、本校では通信票も新しく変わります。

通信票では、基礎的な知識・技能を確実に身に付けるため、教科の特性に応じた学習内容の到達評価を設定しました。特に、社会・算数・理科・体育等の各教科の目標や内容を踏まえ、お子さんの学習がどの程度到達しているかを単元別にあるいは学習内容別に達成状況を具体的に示しました。

このことにより、何が到達できて、何が不十分なのかを明確にし、学習するお子さんはもとより、保護者の皆様にもより具体的に学習の達成状況をお伝えし、夏休み以降2学期の学習に備えてほしいと願っております。

算数を例に具体的に説明いたします。

【1学年】

数に関心をもち、進んで学習に取り組もうとする。
20までの数を読んだり書いたりすることができる。
ものの順序を、数を用いて正しく表すことができる。
かんたんなたし算ができる。
かんたんなひき算ができる。

【2学年】

算数に関心をもち、進んで学習しようとする。
簡単なことがらを表やグラフに表すことができる。
「時こく」や「時間」の意味が分かり、日常生活で用いることができる。
2位数のたし算の筆算ができる。
2位数のひき算の筆算ができる。
長さの単位（cm mm）が分かり、測ったり書いたりできる。

【3学年】

算数に関心をもち、進んで学習しようとする。
かけ算の決まりが分かり、0や10より大きい数の乗法計算ができる。
時刻と時間の概念が分かり、時刻と時間を求めることができる。
わり算の意味が分かり、九九を用いて答えを求めることができる。
円や球の性質を理解し、コンパスを使って正しく円をかくことができる。
3桁どうしのたし算やひき算を筆算で計算することができる。

【4学年】

算数に関心をもち、進んで学習しようとする。
億、兆の位に及ぶ整数を読んだり書いたりすることができる。
単位と測定の意味を理解し、角の大きさを測定したり角を書いたりすることができる。
2～3位数を1位数でわる除法計算ができるとともに、それを適切に用いることができる。
直線の垂直と平行の関係に着目しながら台形、平行四辺形、ひし形について理解し、これらの図形を書くことができる。

【5学年】

算数に関心をもち、進んで学習しようとする。
整数及び小数について、十進法としての特徴を理解し、計算などに有効に用いることができる。
立体の体積を求めることができる。
小数のかけ算ができる。
小数のわり算ができる。
三角形や平行四辺形などの合同な形をかくことができる。

【6学年】

算数に関心をもち、進んで学習しようとする。
円の面積を求めることができる。
文字を使って式に表すことができる。
分数のかけ算ができる。
分数のわり算ができる。
線対称・点対称の図形の性質が分かり、かくことができる。
2つの数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。

●各教科の学習の状況を「よくできた・できた・もう少し」の3段階で示しています。（1年生の1学期は2段階です。）

「よくできた」～目標に十分到達している

「で き た」～目標にほぼ到達していると判断されるもの

「もう少し」～もう少しで到達できると判断されるもの

算数では、計算ができる、図形の処理ができるなど理解の状況がはっきりしています。

改正点は、基礎的な知識・技能の確実な習得を目指し、内容ごとの到達状況に応じて「よくできた」「できた」とし、理解するまでもう少しの努力が必要な場合は「もう少し」で示しています。大切なことは、理解できなかった内容をそのままにしないことです。

各学年共通に、主体的に学習に取り組む態度（関心・意欲・態度）を、「…しようとする。」の項目で設定しています。

課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等については、特に顕著な取り組みを「学校からのれんらく」に文章記述で示します。



3段階評価（1年生1学期のみ2段階）ですが、大切なことは、「よくできた」の数の多さよりも、確実に理解しているか、学習で不足しているところはどこかが分かることが大切です。